

ガラス展

～ガラスの写真・ガラスのランプなど～

平成28年7月1日（金）～ 9月24日（土）

登録有形文化財「藤岡家住宅」NPO法人うちの館（やかた）



ガラスに焼き付けられた写真（明治20年頃）



明治時代 座敷ランプ



明治時代 ハリケーンランタン

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人NPO法人うちの館（やかた）
〒637-0016 奈良県五條市近内町526 ☎&FAX 0747(22)4013

info@uchinono-yakata.com <http://www.uchinono-yakata.com>

ガラス展 ～ガラス写真・ガラスのランプなど～

平成 28 年 7 月 1 日（金）～ 9 月 24 日（土）

登録雄家文化財「藤岡家住宅」展示室にて

午前 9 時～午後 4 時 月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館

大人（高校生以上）300 円・小人（小・中学生）200 円・20 名様以上 2 割引

藤岡家住宅の厨子二階でガラス板に焼き付けられた写真 18 枚発見されました。厚紙に焼き付けられた写真は 1 枚でこの裏には「明治三十三年三月十一日奈良猿沢池畔 写真師北村太一」とあります。北村太一氏は、安政 3（1856）年長州に生まれました。東京で写真技術を修得後 明治 18（1885）年から猿沢池の畔で北村写真館を開業。当時の撮影料は、ガラス写しで桐箱入り 1 枚 10 銭。紙写しは 3 枚 10 銭でした。北村は明治 30（1897）年には金紙写真機を海外から購入して 5 人掛かりで吉野の山林を撮影し、明治 36（1903）年大阪四天王寺今宮で開催された第 5 回内国勸業博覧会に出展しています。藤岡家出身で、ビタミン A の発見者高橋克己博士に嫁いだ高橋英子さんの嫁入り道具の琴は、同じ勸業博覧会で賞をとった琴製作者「まる儀」の作品ですが、この内国博覧会は、明治 33（1900）年開催のパリ万博の後を受け、世界に誇る大博覧会でした。初めての夜間開場が行われ、5 色の照明で大噴水がライトアップされるなどイルミネーションの演出も加わりました。藤岡家の厨子二階には「洋燈台 第一号」と書かれた桐の箱もあり、座敷ランプと呼ばれる明治時代のオイルランプが納められていました。同じく明治時代のハリケンランタンは、ホヤの部分のガラスが手作りで、そのゆがみが美しい光を演出したことが分かります。藤岡家大広間（新座敷）は明治 45（1912）年の建築物で、廊下を取り囲むギヤマンガラス（吹きガラス）の大戸（106 ㌢×92 ㌢ 12 枚。48 ㌢×64 ㌢ 24 枚）は、和から洋の世界へ移行する文化の輝きを、今もそこに留めています。明治 44（1911）年から昭和 49（1974）年まで製造されていたマツダランプの電球、昭和 3（1928）年から製造されたというトウランプ（東電電球株式会社製）、ランプ用のホヤなどを展示します。



左 少年像 右 酒造り風景 11 ㌢×9 ㌢



ガラス製の乾板など



電球 マツダランプ
トウランプなど



ブリキの蓋付き
ガラス瓶底に㊦の
ロゴ



大広間（新座敷）

明治 45（1912）年建築のガラス戸



ウランガラス製の時計 1830 年代、ガラスにウランを混ぜることによって緑色のガラスが製造され始め 1940 年代までの間にガラス器が多く製造された



NPO 法人うちの館（やかた）〒637-0016 奈良県五條市近内町 526

☎・FAX 0747 (22) 4013 info@uchinono-yakata.com ホームページは「うちの館」へ